

R7年度 生徒会だより No.3

令和7年6月12日
生徒会執行部発行

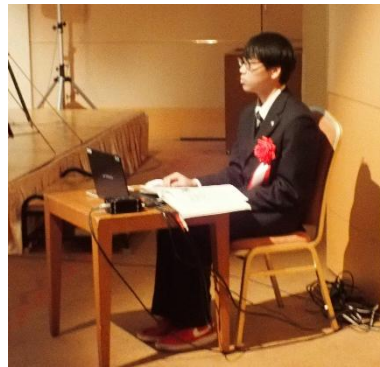
第1回北海道豊かな海づくり大会



道職員の方とのリハーサル



大会旗お披露目(本番) 未来を担う若い世代へと託されました。



3年栽培漁業科の5名が研究発表しました。「ニホンザリガニの生息できる環境が豊かな海づくりにつながる。」と述べ、先輩方から受け継いだ研究テーマと今大会の趣旨を結びつけていました。



築港臨海公園では主催者代表、ご来賓代表者の方々と本校生徒がペアになり、ニシンの稚魚を放流しました。



イベント会場では、2年海洋漁業科の生徒がパネルを展示して本校を紹介し、3年水産食品科の生徒が缶詰販売を行いました。



多くの人の前で初めて放流をして、少し緊張しました。この大会をきっかけに、たくさんの人に海の大切さと海の素晴らしさについて知ってほしいと思いました。(生徒会長：3年栽培漁業科 荒川千帆)

私は式典と稚魚放流の2つに参加させていただきました。皆さんの前に立ったり、自ら動いたりするのは緊張しましたが、とても良い体験でした。(会計監査：2年情報通信科 徳尾颯)

海づくり大会は、漁業の未来を考える良いものでした。これからも、水産生徒としての自覚をもちながら授業などを受けていきたいです。(執行委員：2年栽培漁業科 南雲天翔)

生徒総会

6月5日(木)、全校生徒(343名)の3分の2以上の出席を確認したあと、活動方針の審議、会計監査の報告がありました。また、2R、3S、3Rの3クラスからの質問に体育委員長、文化委員長が答えました。

